

製品名: TMEM185A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19053**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	TMEM185A
別名	TMEM185A; CXorf13; FAM11A; Transmembrane protein 185A; Protein FAM11A
遺伝子 ID	84548.0
SwissProt ID	Q8NFB2
免疫原	抗血清はヒト TMEM185A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 290-339

背景

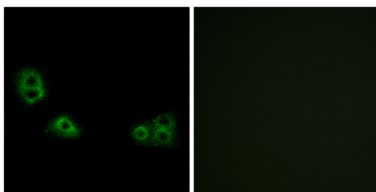
この遺伝子によってコードされるタンパク質は膜貫通タンパク質であると予測されています。この遺伝子は、脆弱部位 FRAXF の CpG アイランドに局在することで最もよく知られています。この遺伝子の 5'非翻訳領域には、CGG トリヌクレオチド反復配列が含まれて

おり、通常は7~40個のタンデムCGG反復配列で構成されていますが、300個を超える反復配列にまで拡大することもあります。CpGアイランドのメチル化は、この遺伝子の転写サイレンシングにつながりますが、サイレンシングも反復領域の拡大も、明確な表現型として現れるようには見えません。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子の偽遺伝子がX染色体上に定義されています。[RefSeq提供、2013年8月]類似性: TMEM185ファミリーに属します。、

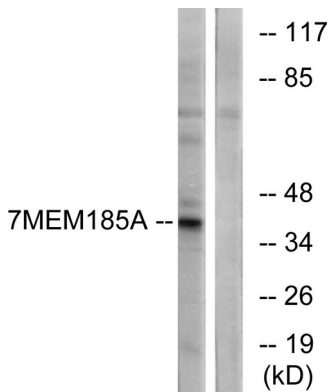
研究分野

-

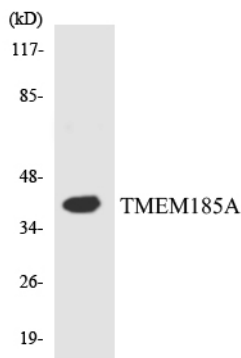
画像データ



TMEM185A抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TMEM185A抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TMEM185A抗体を使用したHT-29細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。